



あおば 2月号



サクラサク 桜咲く



栄養科主任 田島 靖子

年が明けもう2月、まさに受験シーズンですね。我が家にも初の受験生を迎えました。本人に自覚があるのかは???ですが、「桜咲く」のか「桜散る」のか気になります。「桜散る」と言っても、そもそも桜も咲いていないのに何故散るのか? どうでも良い事のようにですが、我が家にとっては重大問題! どうして合格を「桜咲く」と表現するのか調べてみました。

合格したら「桜咲く」、不合格だったら「桜散る」。合格を表すために「桜咲く」と表現され始めたのは1950年代。当時はインターネットもなくホームページで合格発表なんて事はなく、発表を見るためだけに地方から東京まで来なければならなかったそう。手紙では結果の通知まで時間がかかってしまうため、早稲田大学が電報での合否通知を始めたそうです。その時合格電報で使われたのが「サクラサク」。不合格の場合は「サクラチル」あるいは「イナホチル」だったそうです。その後、他の大学も様々な表現の合格電報を始めました。因みに東京大学の不合格通知は「ウメノハナチル (梅の花散る)」だったとか。他にもお茶の水女子大の合格通知は「オチャカオル (お茶香る)」、不合格通知は「コノメドキマテ (木の芽時待て)」、静岡大学の合格通知は「フジサンチョウセイフクス (富士山頂征服す)」、不合格通知は「スルガワンイマダナミタカシ (駿河湾未だ波高し)」、山形大学の合格通知は「ジュヒョウカガヤク (樹氷輝く)」、不合格通知は「ガッサンシンドウツウコウドメ (月山新道通行止め)」などなど…。不合格通知にも優しさがあり、面白い表現がいっぱいですね。

皆様のもとにも桜の開花便りが届きますように (もちろん我が家にも!)

行事紹介 新年会



各フロアで新年会を開催しました。今年は箏の演奏家の方をお招きし、素晴らしい演奏を披露していただきました。また、書道パフォーマンスやおかめひょっとこ、福笑い、おみくじに獅子舞と新年会ならではの催し物で盛り上がり、楽しい会になりました。



行事紹介～餅つき～

今年初めて石臼を用意し、利用者様と餅つきを行いました。合いの手に合わせて、カいっばい杵をふり下ろす利用者様やスタッフの様子に、歓声が上がりました。できたてのお餅は小さく丸めて、きなこことあえ、皆様に召し上がっていただきました。



今月の予定

3日(土) 節分
13日(火) 誕生会

栄養科イベント

今月は、昼食時に“にぎり寿司”を提供しました。皆様、久しぶりのお寿司に舌鼓をうち、おいしそうに召し上がっていました。



特定医療法人研精会 介護老人保健施設 デンマークイン若葉台

施設紹介
入所（認知症専門棟あり）
短期入所療養介護
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション

地域活動
介護予防サロンわかばカフェ

併設施設
稲城台病院
訪問看護ステーションゆい若葉台
介護支援センターゆい若葉台

★お気軽にお問い合わせください。
★職員随時募集中
住所：稲城市若葉台3-7-1
電話：042-331-3030

